

三好学生誕生150年

世界の植物学者を顕彰

ことしは、サクラとハナシヨウブの博士として知られる三好学が生まれてから、150年目の記念の年です。岩村町出身で若いころから勉学に励んだ博士は、日本の近代植物学の基礎をつくり、天然記念物保護に力を注ぎました。市では、三好学博士誕生150年記念事業実行委員会と共に、博士の生涯とその功績を紹介し、わがまちの誇る偉人としてたたえる記念事業を行っています。

□問い合わせ 文化課 43-2112 (内線322)



▲三好学。『郷土に輝く先人』岐阜県発行(1991年)から転写

三好学生誕生150年記念事業

ことし三好学博士誕生150年記念事業実行委員会と市では、科学の祭典や環境フェスタで啓発した他、フォトコンテストやホテルまつり、ザ・緑日など、岩村町の行事で、三好学にちなんだ催しを行ってきました。今後、予定している事業をお知らせします。

記念フェスティバル
記念事業の集大成です。

- とき 平成24年1月15日(日)午後1時~4時
- ところ 恵那文化センター
- 料金 無料
- 内容 「こども植物画コンクール」受賞者発表と表彰式、自然や植物についての記念講演会、中国琵琶コンサート、市指定文化財の「桜花図譜」「花菖蒲図譜」を特別公開、クイズや体験ゲーム、変身コーナーなど

青年時代は教員で活躍

三好学博士は、今から150年前の1862(文久元年)に、岩村藩の江戸藩邸で生まれました。明治時代に移る7歳のとき、家族で岩村へ引っ越してきて、幼年期を過ごしました。

11歳のとき、父が亡くなり、母方の叔父のいる福井県三国町の浄土宗西光寺に預けられ教育を受けました。

15歳になると、後の石川県第三師範学校に入学。卒業すると岐阜県に戻り、18歳で土岐学校(現在の瑞浪市土岐小学校)の教員、また校長として授業や学校の運営に当たりました。授業の内容を『授業日誌』にまとめ、記録しています。丁寧に書かれた内容からは、教育に対する熱意や研究心が伝わってきます。

21歳から上京して勉学に励んでいた学は、28歳のときに帝国大学理科大学植物学科(現在の東京大学)を卒業。大



▲授業日誌

学院に進学し、植物学の研究を続けました。ドイツ留学を果たし、帰国後、34歳で帝国大学の教授になり、理学博士の学位を与えられました。

世界的な研究者になる

サクラとハナシヨウブの研究で、世界的な研究者として知られ、研究の成果を『桜花図譜』と『花菖蒲図譜』にまとめています。



▲桜花図譜

『桜花図譜』は、木版の桜花写生図で、第一巻に『花菖蒲図譜』は、ザクラや枝垂れザクラなど71図、第二巻にはその他47図を載せています。



▲花菖蒲図譜

景観という言葉を生む

現在、広く使われている「景観」という言葉を造語したことも知られています。1902(明治35)年に『植物生態美観』で初めて景観という言葉を使用。この言葉は、道路や建物などを造る街づくりに生かされています。

61歳のとき、帝国大学付属植物園園長になり、この年日本を訪れたドイツのアインシュタイン博士を接待し、園内を案内。その後ハワイで行われた天然記念物保護の問題の会議に日本代表として出席。1911(昭和14)年、群馬県でのツツジの調査から帰宅後、急性肺炎で78年の生涯に幕を閉じました。最期まで研究に捧げた生涯でした。



深萱 澄雄さん

三好学生誕生150年記念事業実行委員会会長

偉大な先人を啓発

三好学は、日本ではあまり知られていませんが、世界的な植物学者として有名で、偉大な先人。ことしの春、実行委員会を立ち上げ「みて!よんで!して!まなぶ!」を合い言葉に啓発しています。子どもたちにも、知ってもらえるよう生い立ちの漫画本も作成中です。

ゆかりの品を展示

市中央図書館と岩村歴史資料館では、市指定文化財の図譜や、三好学にゆかりのある品物を展示中です。

- 市中央図書館
- 期間 12月25日(日)まで
- 展示品 桜花図譜と花菖蒲図譜(原本と写真)、中央図書館所蔵の三好学著書
- 料金 無料
- 岩村歴史資料館
- 期間 平成24年3月1日(木)まで
- 展示品 桜花図譜と花菖蒲図譜(出版物)、授業日誌、三好学書六曲屏風、勲二等旭日重光章勲記・勲章他
- 料金 △高校生以下 無料
- △65歳以上 200円
- △一般 300円(入館料)
- 子ども植物画巡回展
- ところ・期間 △市役所 平成24年1月18日(水)~31日(火) △岩村コミセン 平成24年2月1日(水)~12日(日) △明智文化センター 平成24年2月14日(火)~24日(金) △恵那文化センター 平成24年2月26日(日)~3月7日(水)
- 料金 無料
- 内容 保育園児・幼稚園児の部、小学生の部、中学生の部の各受賞作品(三好学大賞3点、市長賞3点、実行委員会賞3点、奨励賞3点)を巡回して展示

※小学生にも「わがまちの偉人」を知ってもらうために、この記事には特別にふりがなを付けてあります

※コミセン=コミュニティセンターの略



▼7月上旬の見ごろを迎えた岩村城址公園のショウブ園



地図NO.	① (岩村町)
名称	富田ハナノキ自生地
解説	三好学が尽力し大正11年に国指定の天然記念物になった



地図NO.	② (笠置町)
名称	ヒトツバタゴ自生地
解説	県内で最も太いヒトツバタゴ。幹周り約190㍍。大正12年国指定

市内には66の天然記念物がある

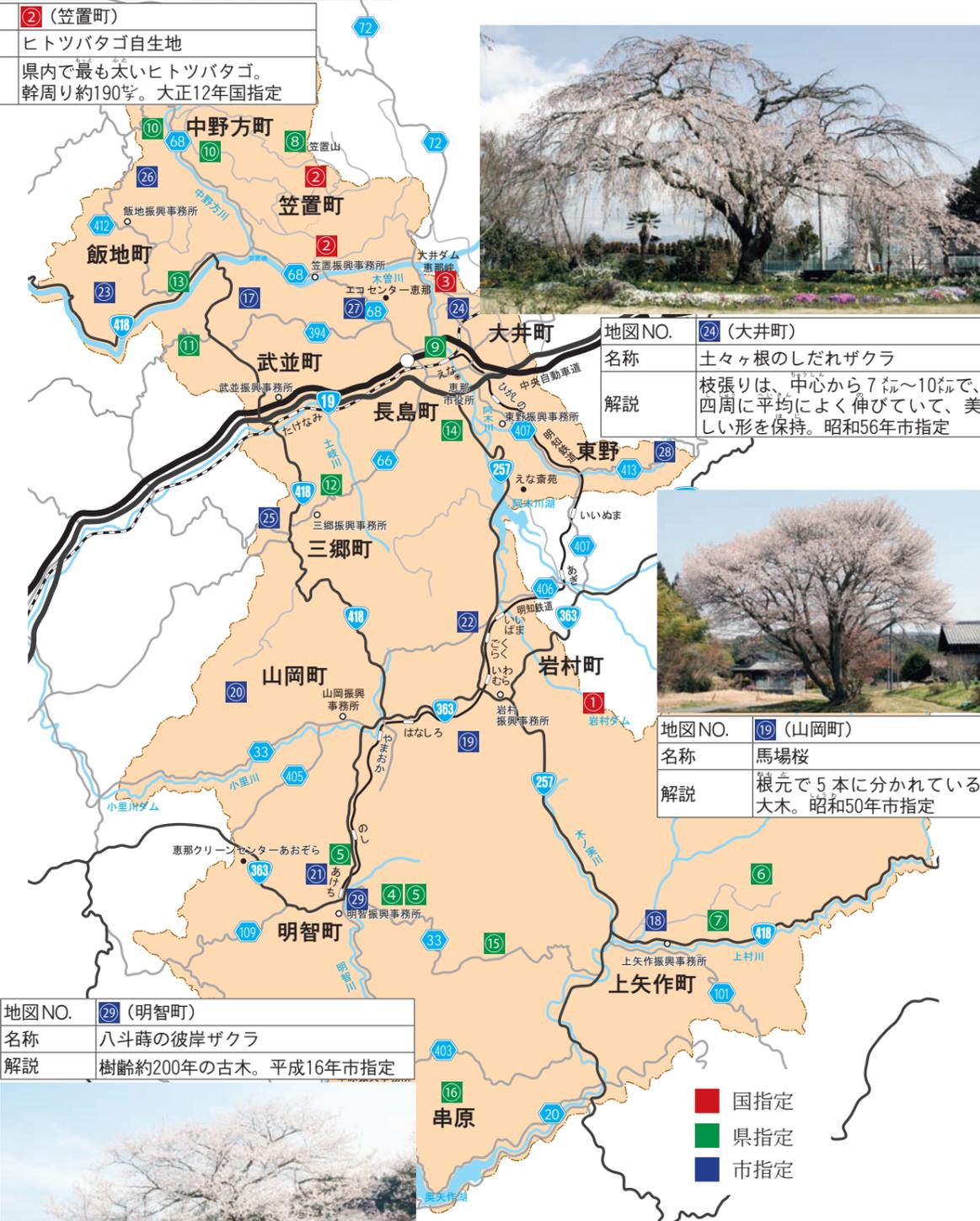
三好学の努力により、貴重な植物が天然記念物として法律で保護されるようになりました。市内には、豊かな自然と共に継がれてきた天然記念物がたくさんあります。国指定が3件と県指定が13件、市指定が50件の合計66件。ここでは、国と県が指定している

ものと、三好学にちなんでサクラや植物が市の指定になっているものから、代表的なものを表と地図、写真で紹介しします。

指定文化財の詳細は、市ウェブサイト「エーナココ」(<http://welcome.city.ena.gifu.jp/>)をご覧ください。

天然記念物の一覧 (市指定は抜粋)

名称	所在	指定
① 富田ハナノキ自生地	岩村町富田大洞1541-21	国
② ヒトツバタゴ自生地	笠置町姫栗市木977-210、211、同松葉1267-2、1267-3	国
③ 傘岩	大井町奥戸2697-31	国
④ 団子スギ	明智町大真菰 1614	県
⑤ 自生のヒトツバタゴ	明智町荒井1650、大真菰1614、大庭1-1	県
⑥ 大船神社の弁慶スギ	上矢作町高井戸1307-1	県
⑦ 大船神社参道の松並木	上矢作町高井戸1307-1	県
⑧ 笠置山のヒカリゴケ	中野方町宇塚4443-1	県
⑨ 大井ヒトツバタゴ	大井町古瀬354-7	県
⑩ 中野方のヒトツバタゴ自生地	中野方町太田576-3、同赤又駄4484-22	県
⑪ 武並のソウセイチク自生地	武並町藤天神前1423-2	県
⑫ 亀ヶ沢のハナノキ自生地	三郷町野井亀ヶ沢	県
⑬ 河合のカヤ	笠置町河合下柵1887-1	県
⑭ 正家のカヤ	長島町正家上垣外84-1	県
⑮ ひよもの枝垂れザクラ	串原中沢5325-2	県
⑯ なかやまじんじゅしゃそう 中山神社社叢	串原3913、3914-2、3914-3、3914-4	県
⑰ 藤のカヤの木	武並町藤山足950-1-1	市
⑱ 新田の桜	上矢作町2858	市
⑲ 馬場桜	山岡町馬場山田松原363-1	市
⑳ 船岩	山岡町下手向野田882-126	市
㉑ 滝坂観音堂の枝垂れ桜	明智町滝坂	市
㉒ 中切津島神社大杉	岩村町飯羽間2007	市
㉓ 前平のいちょう	飯地町1324-8	市
㉔ 土々々根のしだれザクラ	大井町2710-41	市
㉕ 佐々良木中坪の檜	三郷町佐々良木中坪411	市
㉖ 飯地町大根シデコブシ自生地	飯地町349-1、350、375の一部	市
㉗ 千田のヒトツバタゴ	長島町久須見字天王前	市
㉘ 保古の湖のゴヨウツツジ自生地	東野2390-1、2390-83	市
㉙ 八斗蒔の彼岸ザクラ	明智町常盤町2	市



天然記念物保護に尽力

三好学は、自然保護や貴重な植物の保護にも取り組んでいます。明治時代の産業の発展の陰りから、歴史的に貴重なものや古くからの名勝(景色の良いところ)、名木(由緒ある有名な木)や巨樹(同じ種類の中で特に大きな樹)が壊され切り倒された。学術上価値のあるものは法律で保護すべきであると世に先駆けて訴え、論文や著書で天然記念物の保護や保存の必要性を広めました。その努力が実り、58歳の1919(大正8)年に「史蹟名勝天然記念物保存法」と

学術上価値のあるもの

学術上価値が高く、文化財保護法や各地方自治体の文化財保護条例で指定した動物や植物、地質鉱物を天然記念物といえます。植物では、名木や巨樹、老樹といった植物の他、代表的な並木や原始林(人の手が加えられていない自然のままの森林)、高山植物帯(標高2500以上の高山帯に生えている植物)、珍しい植物の自生地などで、学術上貴重なものを天然記念物に指定し

ます。指定後は、荒らされたり、傷つけられたりしないよう、花や実を採るときや、枝や幹を切るときは、指定者の国が県、市の許可が必要です。私たちは、植物そのものを保護するだけでなく、周辺環境にも配慮しながら市の財産として、これらを守り継ぐことが大切です。

地図NO.	⑮ (串原)
名称	ひよもの枝垂れザクラ
解説	樹齢約250年の幹周り4㍍、高さ枝張りとも20㍍を超す巨木。昭和57年県指定